

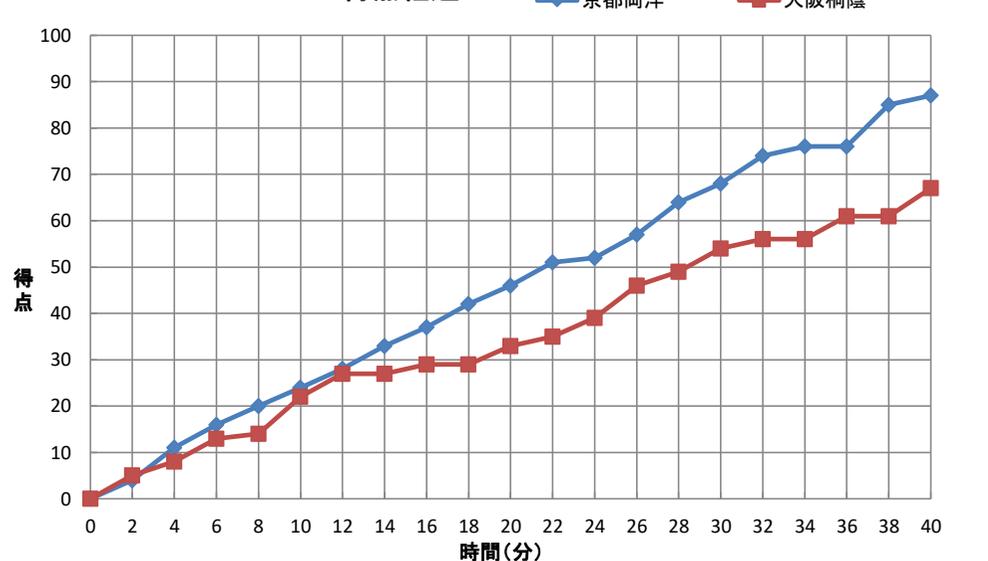


第71回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

女子		令和6年6月23日		9:30 開始													
準決勝		和歌山ビックホエール		D													
◎ 京都両洋		87		67 大阪桐蔭													
(京都)		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>22</td></tr> <tr><td>22</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>21</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>13</td></tr> </table>		24	1st	22	22	2nd	11	22	3rd	21	19	4th	13	(大阪)	
24	1st	22															
22	2nd	11															
22	3rd	21															
19	4th	13															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
1	ユヌス カオサラ ボルツラフエ	0	0	0	0	2	* 4	唐原 璃子	4	0	2	0	4				
* 2	杉山 心月	2	0	1	0	2	* 5	田中 里央菜	10	2	2	0	3				
3	森口 笑来美	3	1	0	0	0	6	井口 朝絵	-	-	-	-	-				
4	片山 志歩	-	-	-	-	-	* 7	舛本 碧珠	10	1	3	1	2				
5	高原 綾乙	2	0	1	0	0	* 8	中村 あおい	12	2	3	0	4				
* 7	木谷 夢菜	12	0	4	4	2	9	岡田 若菜	0	0	0	0	1				
* 8	谷口 心綾	15	0	6	3	3	10	西村 亜優	6	0	2	2	4				
* 9	岡田 彩葉	19	0	8	3	3	11	藤澤 滯	6	0	3	0	2				
* 14	ピクトリア ウビ オコイ	15	0	6	3	1	12	稗田 美莉奈	0	0	0	0	1				
17	大西 凜子	-	-	-	-	-	13	濱田 優莉	-	-	-	-	-				
18	中野 有佳子	6	0	2	2	0	14	松田 みなみ	-	-	-	-	-				
24	中島 芯	-	-	-	-	-	* 15	堀江 音	19	2	6	1	3				
26	藤田 瑞木	0	0	0	0	0	16	松葉 美緒	0	0	0	0	0				
69	廣浦 杏	10	0	3	4	0	17	濱口 爽	-	-	-	-	-				
77	林 英美	3	0	1	1	2	18	申 俐華	-	-	-	-	-				
コーチ	吉田 聡						コーチ	市川 藤乃									
Aコーチ	甲良 泰明						Aコーチ	稲原 久美子									
合計		87	1	32	20	15	合計		67	7	21	4	24				
クルーチーフ: 大野 哲広																	
アンパイア: 石川 淳也 田中 真規																	

得点経過



TO	1・2Q	3・4Q	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	9:59	: 37:18	:	:	:	:
TeamB	2:07	:	:	:	:	:

[戦 評]

[第1Q]
大阪桐蔭はマッチアップが上手いかずにミスが目立ち、残り7分53秒で早々にタイムアウトを取る。京都両洋は#9、#7のキレのあるドライブや#14のセンタープレイで得点を伸ばし、大阪桐蔭は京都両洋のディフェンスをなかなか割ることができない時間が続く。しかし残り3分を切ったところで京都両洋#14がベンチに下がると徐々に点差が縮まり始める。残り1分を切ったところで#14をコートに戻すが2点差まで詰められ、24対22京都両洋リードで第1Q終了。

[第2Q]
出だしは大阪桐蔭が素早いパス回しで#10のシュートやスチールから#5が得点し逆転に成功。しかし京都両洋はすぐさま再逆転し、2-3ゾーンで大阪桐蔭を苦しめ、リバウンドを支配し、じりじりと大阪桐蔭を引き離していく。大阪桐蔭も#15を中心に合わせプレイで得点するが、京都両洋は#9のドライブシュートなどでさらに点差を広げ、46対33で前半が終了。

[第3Q]
両チームディフェンス変わらず。京都両洋は#18#69#77が攻守で躍動し得点を伸ばす。大阪桐蔭は速いパス回しから#15、#5を中心に攻撃するが点差を縮めることができず、68対54で第3Q終了。

[第4Q]
京都両洋は大阪桐蔭の連続得点を許さず主導権を握り続ける。残り2分42秒で京都両洋がタイムアウト。メンバーを入れ替えたところを狙って大阪桐蔭がプレスディフェンスを仕掛けるが、京都両洋は落ち着いてボールを回し、大阪桐蔭に87対67の20点差をつけて勝利し、決勝へと駒を進めた。

戦評: 薮添 順子 記録: 向陽